

あびこ駅

60分
コース

Osaka Metro まちさんぽ

御堂筋線 あびこ駅

よさみのあびこ
古代豪族・依羅吾彦の里めぐり

日本最古の観音様と日本最古のため池へ

幻の古代豪族・依羅吾彦の一族が住んでいました。
一族が崇めた観音様と一族の手で掘られたとされる
依綱池の跡地へぶらりと歩きます。



依羅一族は百濟の聖明王から
おくれた観音像を崇めていま
した。そこに寺を建て観音信仰
を広めたのが聖徳太子といわ
れています。また、一族はため池
を掘り一帯を耕しました。日本
最古といわれる人工池です。

あびこ駅
60分
コース

Osaka Metro まちさんぽ

御堂筋線 あびこ駅

古代豪族・依羅吾彦の里めぐり

日本最古の観音様と日本最古のため池へ

よさみのあびこ
幻の古代豪族・依羅吾彦の一族が住んでいました。
一族が崇めた観音様と一族の手で掘られたとされる
よさみ
依網池の跡地へぶらりと歩きます。

スタート駅



約 60 分



ゴール駅

御堂筋線あびこ駅③号出口

御堂筋線あびこ駅

1

おおよさみ 大依羅神社



大依羅神社は古代豪族・依羅吾彦の祖神・建豊波豆羅和氣王と、住吉三神をご祭神としています。式内社で、古くは朝廷から住吉大社に次ぐ扱いを受けていた神社ですが、南北朝時代に依羅氏が滅び、神社も衰退していきました。かつて神社の前には「依網池」と呼ばれる池があり、古代朝廷直轄の耕作地「屯倉」が置かれていたという記録もあります。あびこ観音や大依羅神社の由来に照らすと、依羅氏は、百済や朝廷などに深く関係した氏族と考えられます。

3

よさみ 依網池址碑

崇禪朝の記録に「依網池を作る」とあります。しかし、仁徳朝説、推古朝説もあり、その起源は不明ですが、日本で最古級の人工池です。かつては10万坪の大きさの灌漑用池でしたが、江戸時代、大和川の付け替え工事によって、池の三分の二が大和川となりました。明治・大正・昭和の時代には、まだ池の面影はみられましたが、戦後の市街地化によって公園、学校に変わり、現在はまったくみられなくなり、幻の池となりました。



2

龍神井

伝説によれば、依網池に住む龍神が美女に化身して、依網池に沈む鍬を持ってほしいと、通りかかった農夫に頼みこんだといいます。また、そのお礼として旱魃の際には、この井戸の水を神様に供えると、雨を降らすと約束したといわれています。



4

大和川

大和川は昔、柏原付近からいくつかの川に分かれて北流し、そのために現在の東大阪市一帯はたびたび洪水の被害に見舞われました。そこで明暦3年(1657)、今米村の庄屋・中甚兵衛が大和川付け替えを幕府に嘆願。幕府は大和川の付け替えではなくて堤の改修工事で解決を図りましたが、工事終了後の元禄14年(1701)に大水害が勃発。これは抜本的な治水が必要であるということで、元禄16年(1703)、ついに大和川の付け替え工事が決定。翌年に工事を着工して、現在の大和川となりました。

5

吾彦山大聖観音寺（あびこ観音）

寺伝によると、古代豪族・依羅吾彦の一族が、百済から請來した身の丈一寸八分の聖観音を信仰していましたが、物部氏の廃仏で行方不明に。その後、物部氏を滅ぼした聖徳太子が、観音信仰を尊んで当地に寺を建立して、これがはじまりといわれます。行方不明となっていた聖観音は行基が発見して聖武天皇の病気を治癒します。大坂夏の陣のとき、家康が真田の軍勢に追われた際に、本殿の祭壇の下に身を隠して難を逃れたといわれています。それ以後、江戸時代には家康の帰依、寄進もあって、境内に36の支院をもつ大寺になりました。毎年2月3日の「節分厄除大法会」には聖観音が開帳されます。



文中の「おおさか」表記には、一般呼称や明治以降については「大阪」、江戸時代以前については「大坂」を使っています。
なお、掲載している情報は2019年12月時点のものです。内容は変更されている場合がありますのでご了承ください。

駅スタンプ押印欄

発行：Osaka Metro

協力：一般社団法人大阪あそ歩委員会（お問い合わせ先）大阪あそ歩 info@osaka-asobo.info

このコースや他のコースの〈ガイド付きまち歩き〉については、下記の「大阪あそ歩」のホームページをご覧ください。

<http://www.osaka-asobo.jp> または 大阪あそ歩 で検索

ご注意

※まち歩きには歩きやすい服装で、足下や車などの往来に十分注意し、事故のないように各自で責任をもって行動してください。
※プライバシーにかかる場所での写真撮影や大声での談笑はご遠慮ください。

ご案内

※駅スタンプは駅長室前に設置しています。参加記念にぜひ押印してください。

